

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和6年度 第6号 R6.8.27 (火)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「充実の2学期へ」

今年はほとんど雨も降らず、本当に暑い夏でした。部活動や学習会で登校していた生徒たちは本当によく頑張っていました。お盆が明け、少しずつ朝夕過ごしやすくなってきたように思います。これからは勉強にスポーツに最適な時期を迎えます。

まずはクラス一丸となって取り組む9月27日(金)の体育大会です。既に夏休みからスローガンの作成や応援団の練習は始まっており、今週末にはメンバー決めがあります。あと1ヶ月、しっかり準備してほしいです。学習面では授業内容もどんどん充実していきます。テストも沢山あります。特に3年生は進路決定に向けて、見学会も含めて準備を進めなければなりません。また、どの学年もテスト前だけでなく、毎日の授業や家庭学習を大切にしていくことが重要です。盛りだくさんの2学期、時間を有効に使い、計画的に進めてほしいです。

「クビアカツヤカミキリ」

以前からお知らせしていたように正門前の桜が枯れてしまい、7月末に撤去いたしました。クビアカツヤカミキリという虫に食われたのが原因のようです。校内の他の桜の木も幹からおがくずのようなものが出ており、すでに幼虫が入り込んでいる形跡があります。この虫は、平成30年1月15日付けで特定外来生物に指定されたため、飼育や生きたまま持ち運ぶことは禁止され、その場で駆除しなければなりません。

是非みんなて美しい桜を守りましょう。

「世代交代と合同部活動」

各部活動では3年生が引退試合や発表を終え、次へとバトンを引き継ごうとしています。1年生も随分しっかりし、メンバーとして信頼関係もできました。2年生は新チームの中心として頑張してほしいと思います

野球部では3年生の引退後、1,2年生だけでチームを組むことが難しくなりました。そこで、道明寺中学校と合同で練習を行っています。もちろん試合にも出場できます。この対応は新入部員を迎えて三中だけでチーム編成ができるようになったら元に戻すことが可能です。部活動のあり方も少しずつ見直されてきています。

「1%の可能性」

パリオリンピック。雨の中の開会式でしたが、とてもお洒落で素晴らしいアイデアが詰まっていて、見応えがありました。

競技が始まって、メダルを取れた選手も、期待されていたのに負けてしまった選手もいましたが、大会に出られるだけでも充分すごいことです。どの種目も試合の後のコメントは、本当に努力を重ね、準備をしてきた人にしか言えないものばかりでした。

スケートボードの堀米雄斗選手がベストトリックで大逆転し、金メダルを手にしたことはご存知のことでしょう。彼は「少しの可能性、1%の可能性を最後まで信じた」と言っていました。ただ信じただけで成功するはずはありません。これまで何度も何度も挑んで、コンクリートにたたきつけられながらも、練習で何度か成功したことを信じて挑戦できたのだと思います。それほどの努力をしてきたからこそ奇跡は起きたのだと思います。オリンピック2連覇という運を引き寄せたのも必然かもしれません。

次はパラリンピックです。どんなドラマが繰り広げられるのか、とても楽しみです。ね。